

2026年3月期 決算補足説明資料

2026年5月15日

The logo for RHEON, featuring the word "RHEON" in a stylized, handwritten-style font with a registered trademark symbol (®) to the right.

レオン自動機株式会社

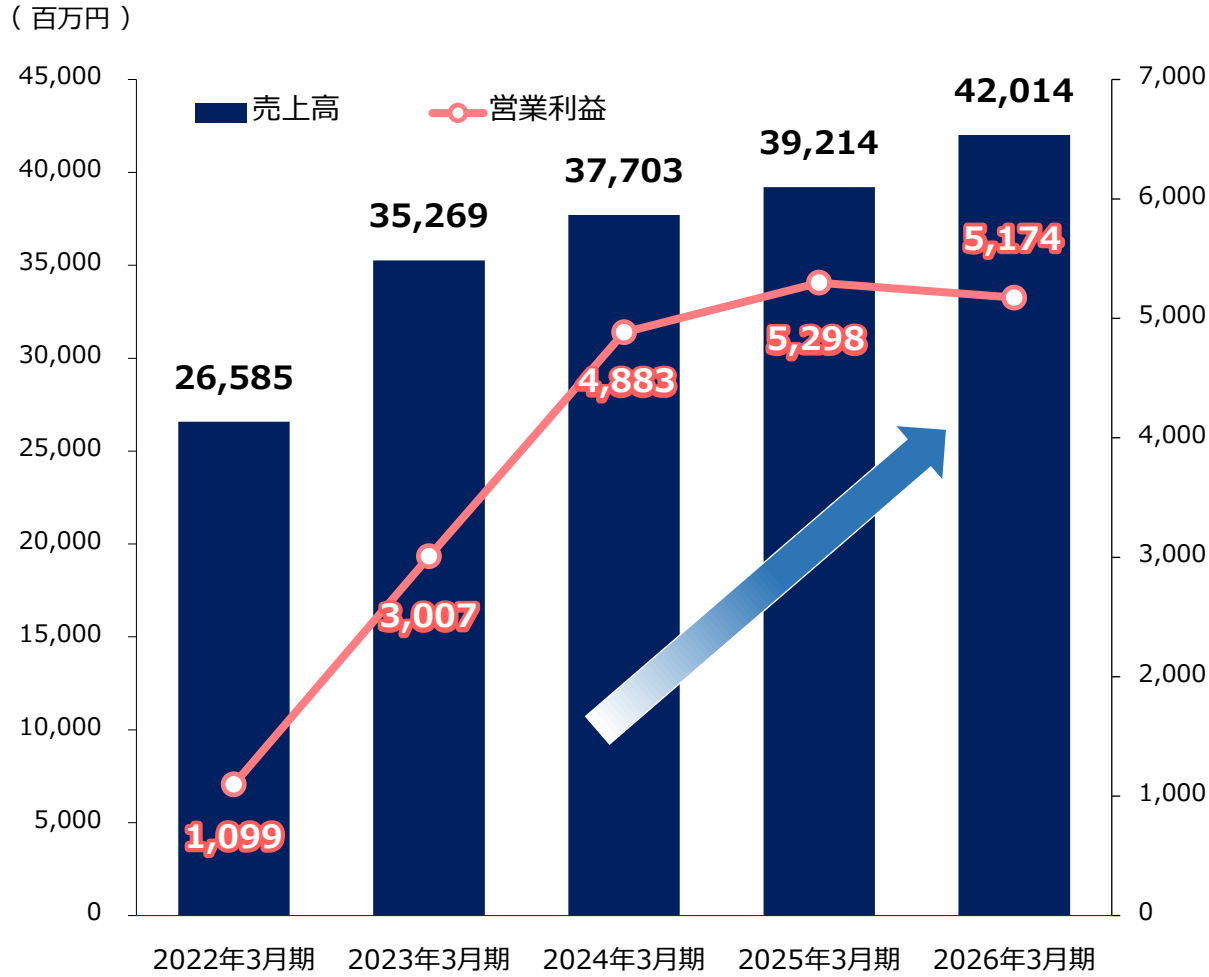
RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.

証券コード（6272）

◆ 連結計算書サマリー

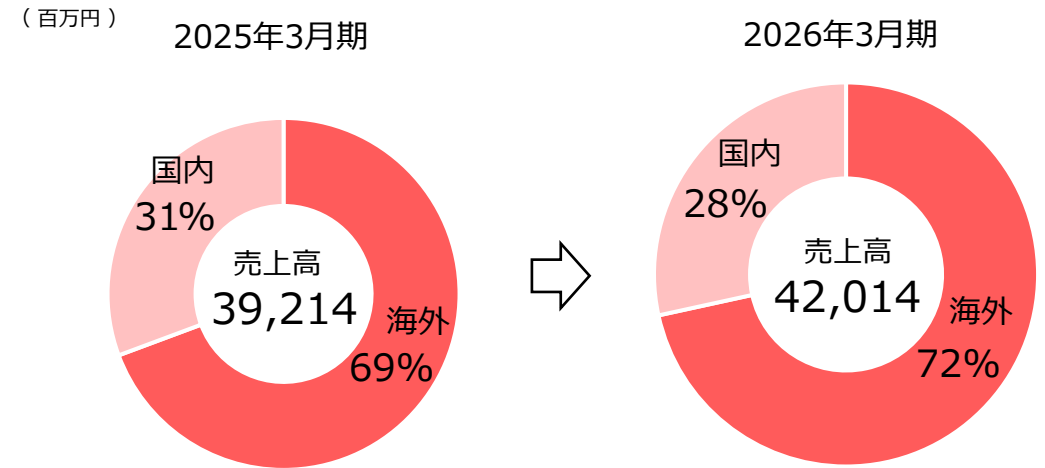
(百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期計画 (2025年11月12日)	2026年3月期 実績	増減額	増減率 (%)	2027年3月期 通期業績予想
売上高	39,214	40,520	42,014	2,800	7.1%	42,900
営業利益	5,298	5,230	5,174	▲124	▲2.3%	5,620
経常利益	5,415	5,320	5,588	173	3.2%	5,690
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,889	3,600	3,898	9	0.2%	4,020
ROE	10.4 %	—	9.5%	▲0.9%	—	9.1%
EPS	144.74 円	133.73 円	144.63円	▲0.11円	—	149.14円
配当	44.00 円	54.00 円	58.00円	14円	—	60円
期中平均為替レート	USドル= 152.58 円 ユーロ= 163.75 円	USドル= 146.00 円 ユーロ= 168.00 円	USドル= 150.77 円 ユーロ= 174.79 円	—	—	USドル=150.00 円 ユーロ= 175.00 円

◆ 過去5年の業績推移

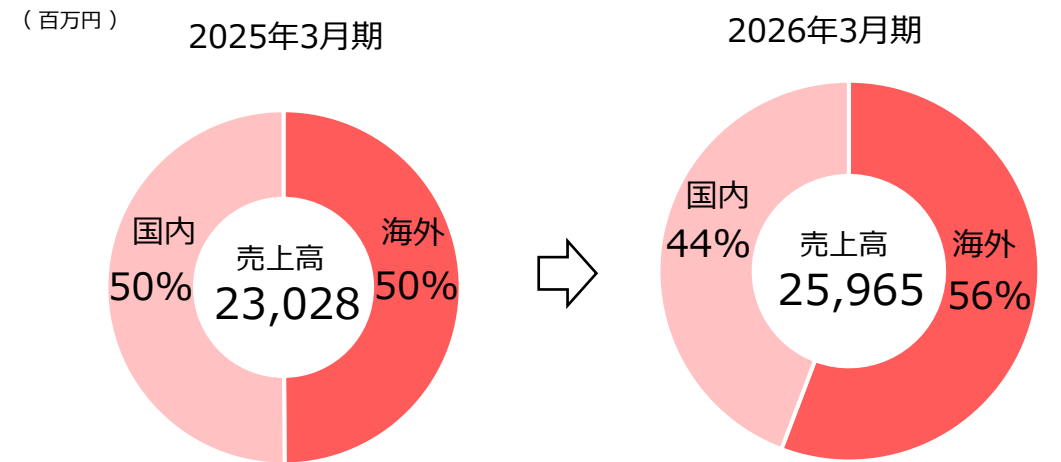


USドル	112.38 円	135.47 円	144.62 円	152.58 円	150.77 円
ユーロ	130.56 円	140.96 円	156.80 円	163.75 円	174.79 円

連結国内外売上高比率



食品加工機械製造販売事業 国内外売上高比率



◆ 食品加工機械製造販売事業・食品製造販売事業 《 事業別売上高・セグメント利益 》

食品加工機械製造販売事業

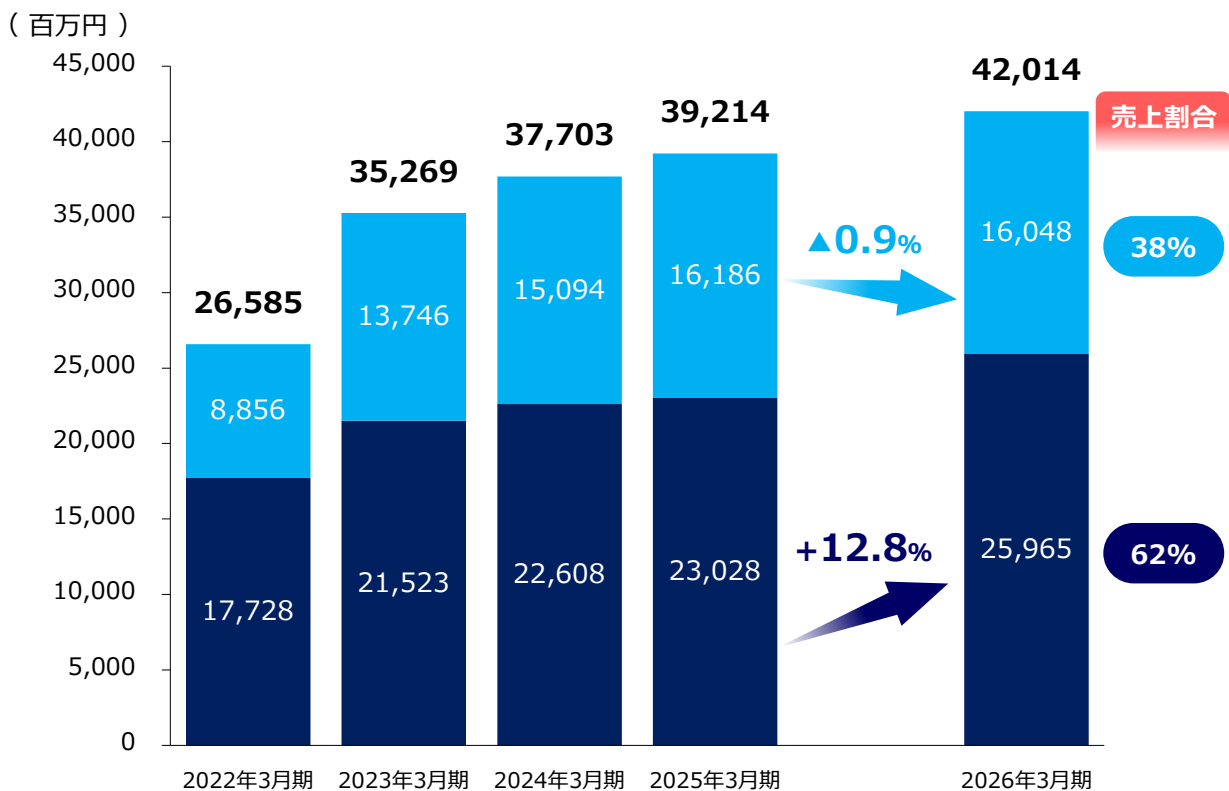
米国・アジア市場での需要が好調に推移したことにより、売上高、セグメント利益ともに増加。

食品製造販売事業

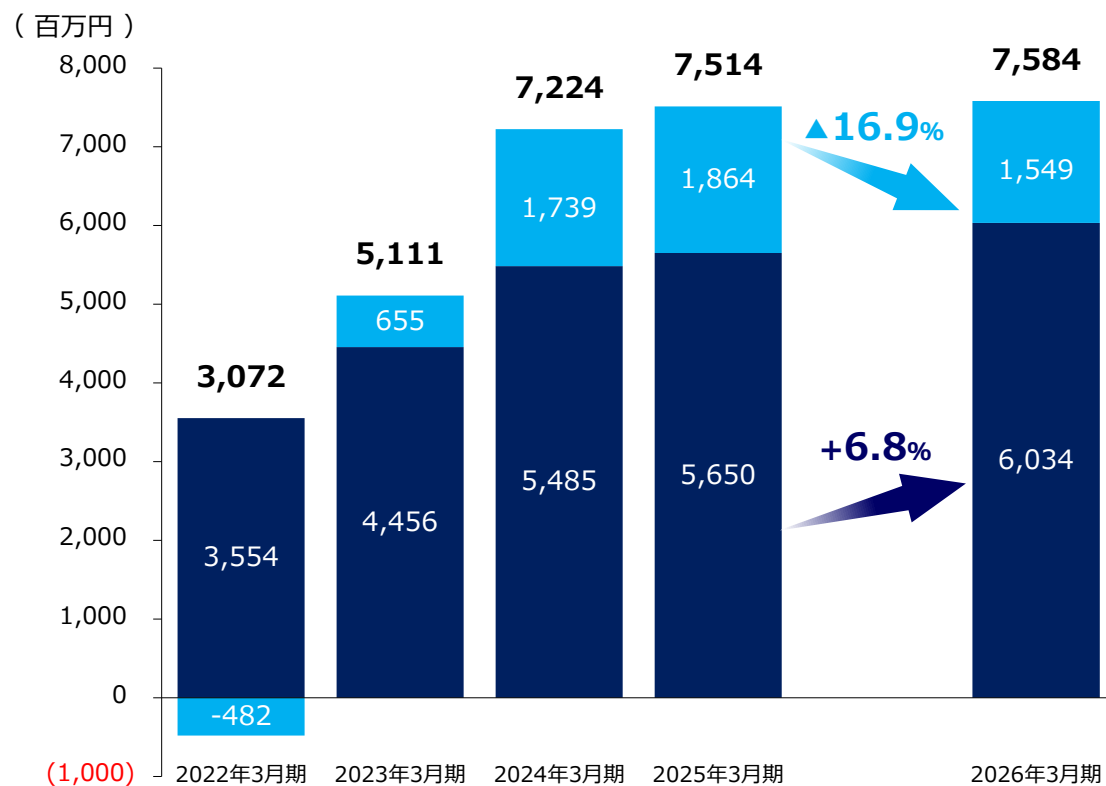
米国において、終売先の発生と円高影響により売上高、セグメント利益ともに減少。

■ 食品加工機械製造販売事業 ■ 食品製造販売事業

売上高



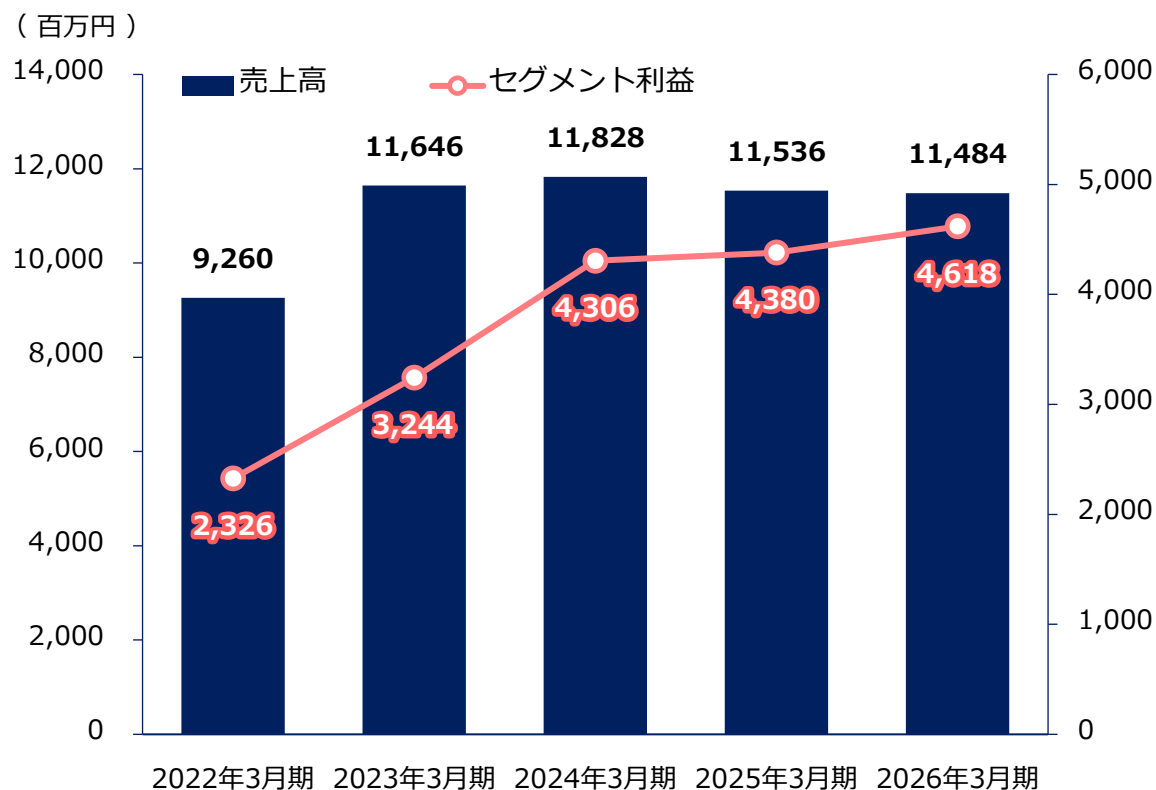
セグメント利益



◆ 食品加工機械製造販売事業 日本 《過去5年 売上高・セグメント利益/売上高内訳》

- 製パンライン等においては、大手製菓・製パンメーカーからの設備更新や新規投資が見られ、売上が増加。
- 食品成形機および修理その他においては売上が減少。

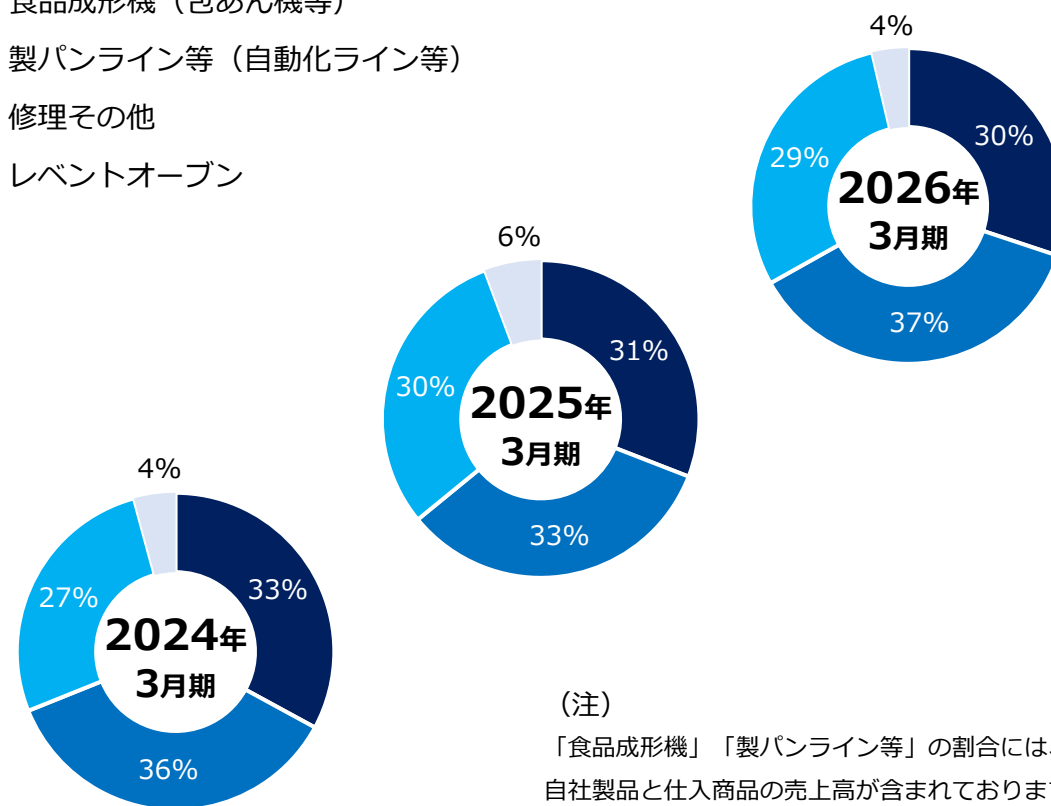
売上高・セグメント利益



売上高 対前年増減率	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
	+25.8 %	+1.6 %	-2.5 %	-0.4 %

売上高内訳

- 食品成形機（包あん機等）
- 製パンライン等（自動化ライン等）
- 修理その他
- レベントオープン

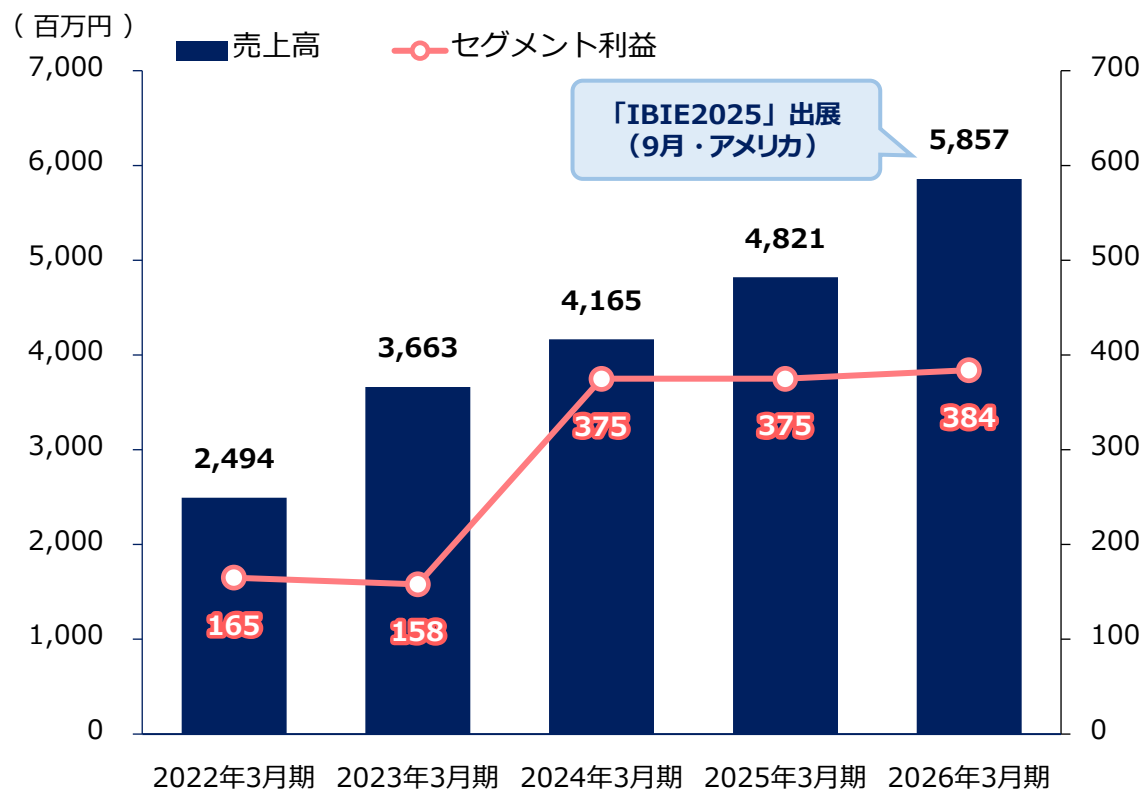


(注)
「食品成形機」「製パンライン等」の割合には、
自社製品と仕入商品の売上高が含まれております。

◆ 食品加工機械製造販売事業 北米・南米 《過去5年 売上高・セグメント利益/売上高内訳》

- 製パンライン等においては、アルチザンブレッド、コンチャ生産ラインの販売が好調を維持し売上が増加。
- 食品成形機および修理その他の売上也増加。

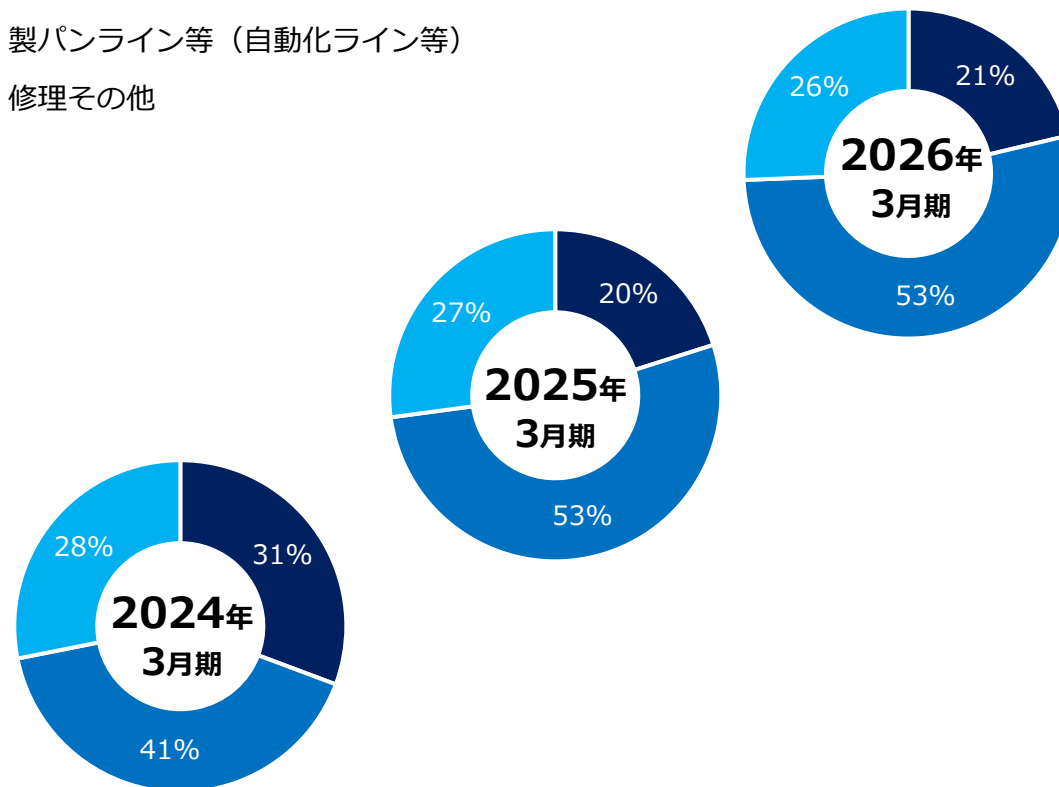
売上高・セグメント利益



売上高 対前年増減率	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
		+46.8 %	+13.7 %	+15.8 %	+21.5 %

売上高内訳

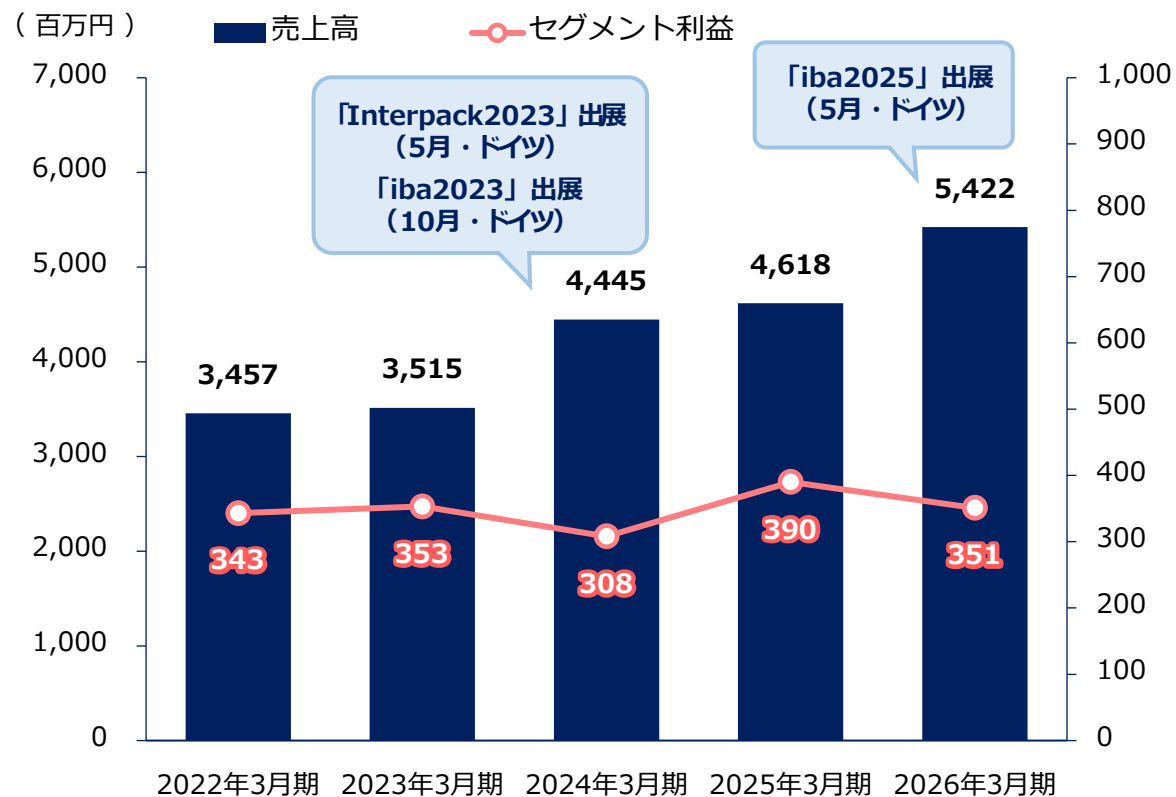
- 食品成形機（包あん機等）
- 製パンライン等（自動化ライン等）
- 修理その他



◆ 食品加工機械製造販売事業 ヨーロッパ 《過去5年 売上高・セグメント利益/売上高内訳》

- 製パンライン等は主力製品である小型製パン機や、大型ラインの販売が好調で売上が増加。
- 食品成形機および修理その他の売上也増加。
- 為替円安の影響も追い風となった。

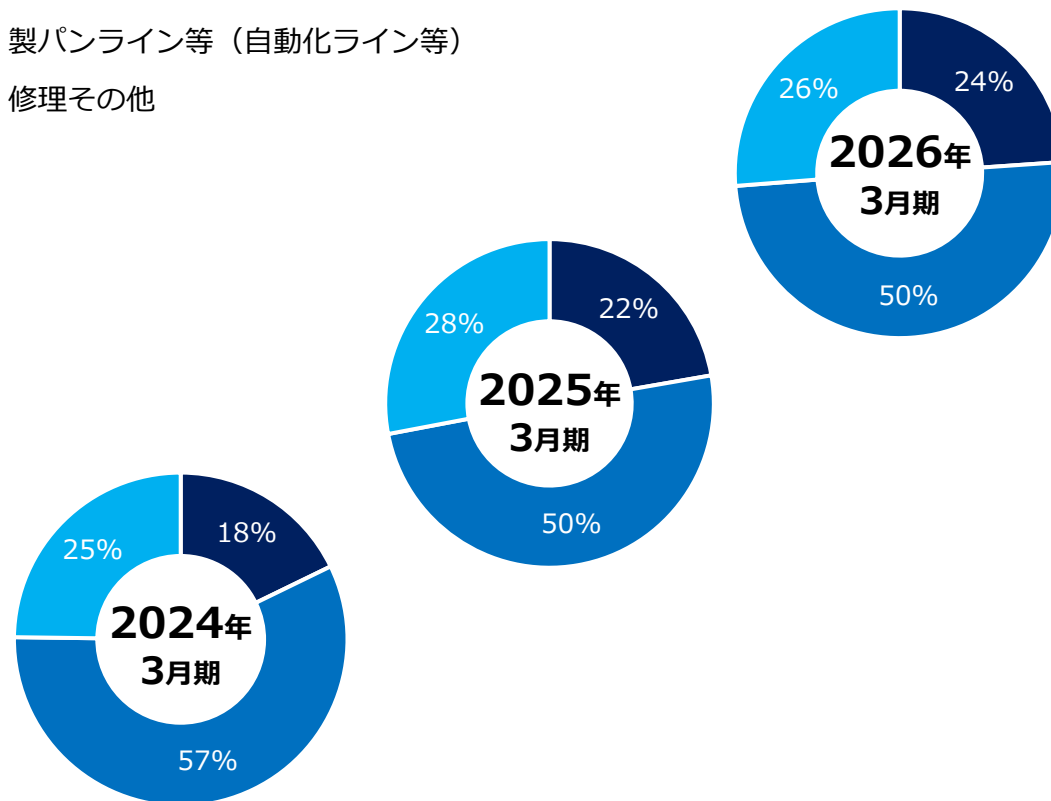
売上高・セグメント利益



売上高 対前年増減率	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
	+1.7%	+26.5%	+3.9%	+17.4%

売上高内訳

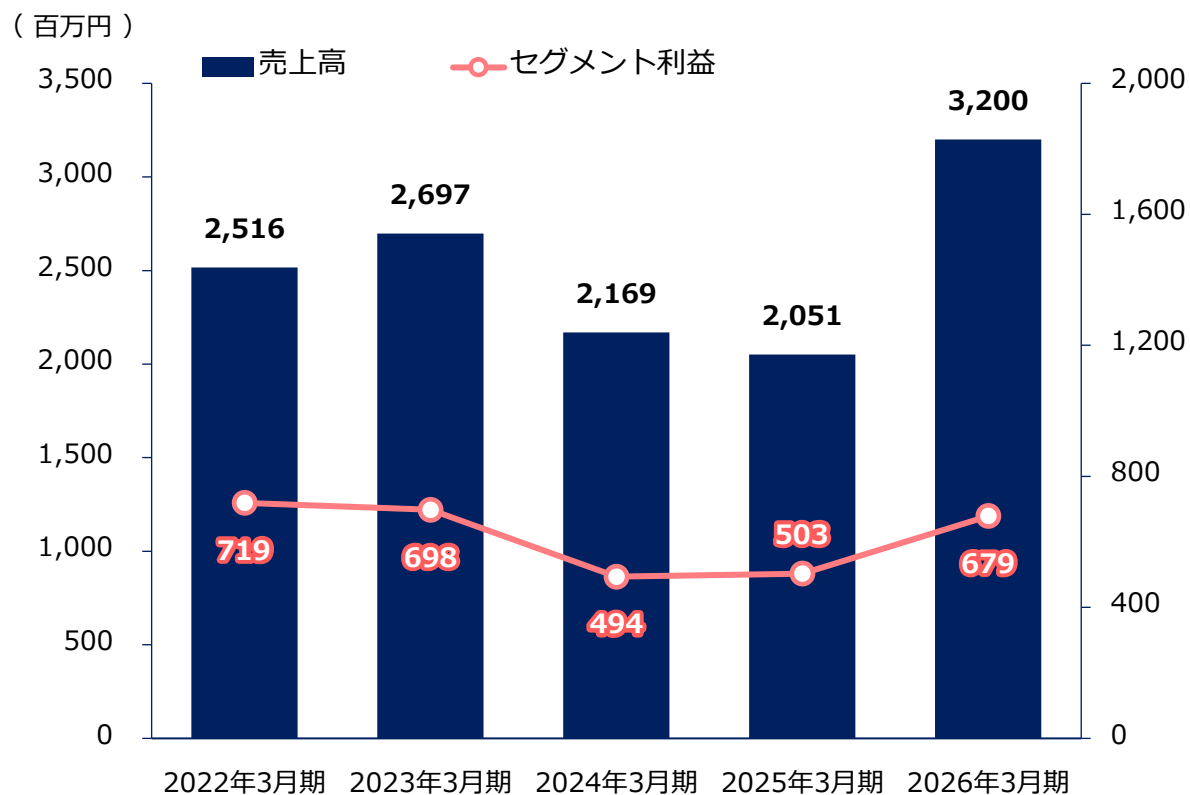
- 食品成形機 (包あん機等)
- 製パンライン等 (自動化ライン等)
- 修理その他



◆ 食品加工機械製造販売事業 アジア 《 過去5年 売上高・セグメント利益/売上高内訳 》

- 製パンライン等は、中国や台湾、韓国および東南アジアで販売が順調に推移し、売上が増加。
- 食品成形機の販売は増加したものの、修理その他の売上は減少した。

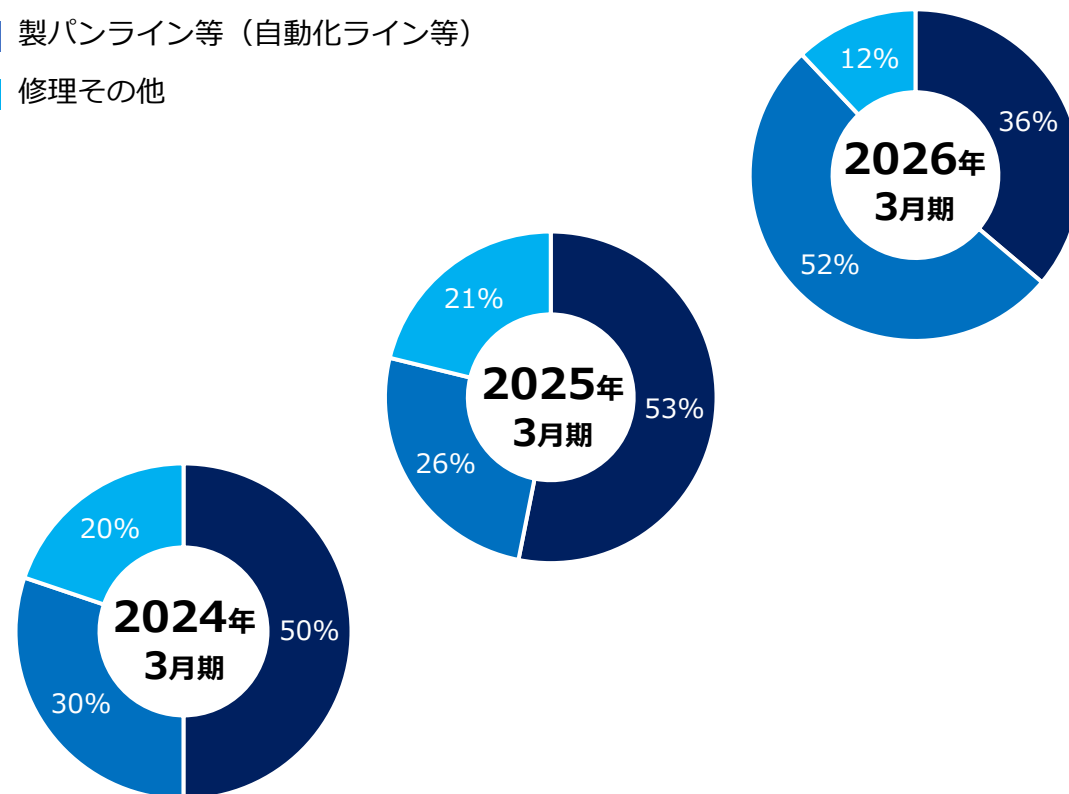
売上高・セグメント利益



売上高 対前年増減率	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
	+7.2 %	-19.6 %	-5.4 %	+56.0 %

売上高内訳

- 食品成形機 (包あん機等)
- 製パンライン等 (自動化ライン等)
- 修理その他



◆ 食品製造販売事業 《 地域別売上高・セグメント利益 》

売上高

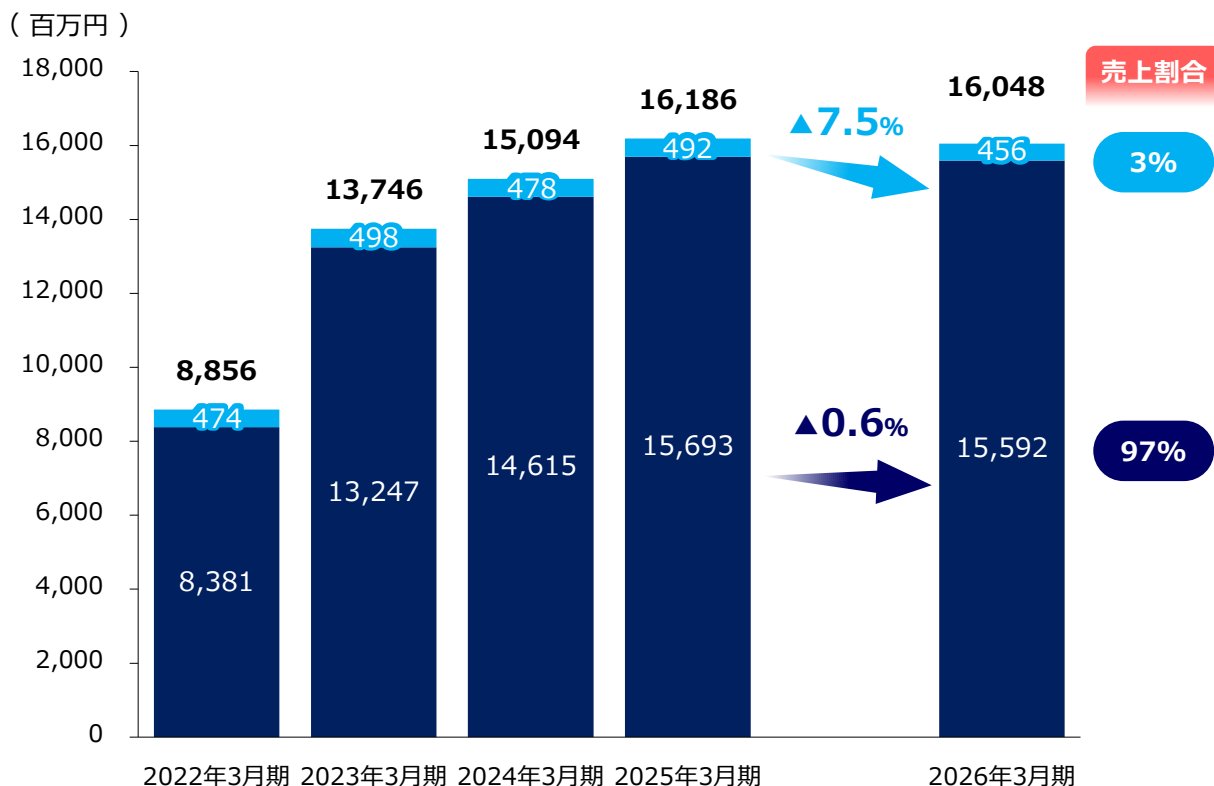
- 北米・南米 新規顧客獲得により現地通貨ベースでは売上が増加したが、円ベースでは若干減少。
- 日本 大口顧客向けの販売が減少したことにより、売上が減少。

セグメント利益

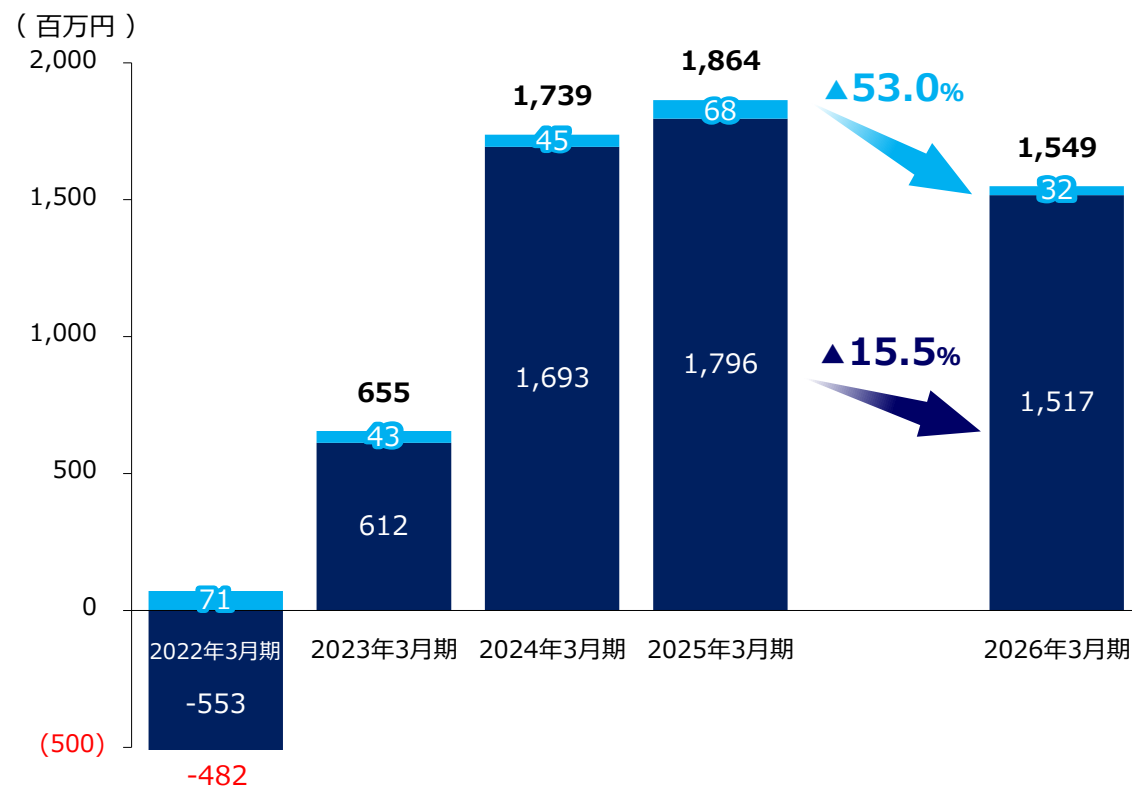
- 北米・南米 新規顧客向けの売り上げ増加に伴い、顧客獲得費が上昇し利益が減少。
- 日本 売上原価率の上昇により利益水準が大幅に低下。

■ 北米・南米 (オレンジベーカーリー) ■ 日本 (ホシノ天然酵母パン種)

売上高



セグメント利益

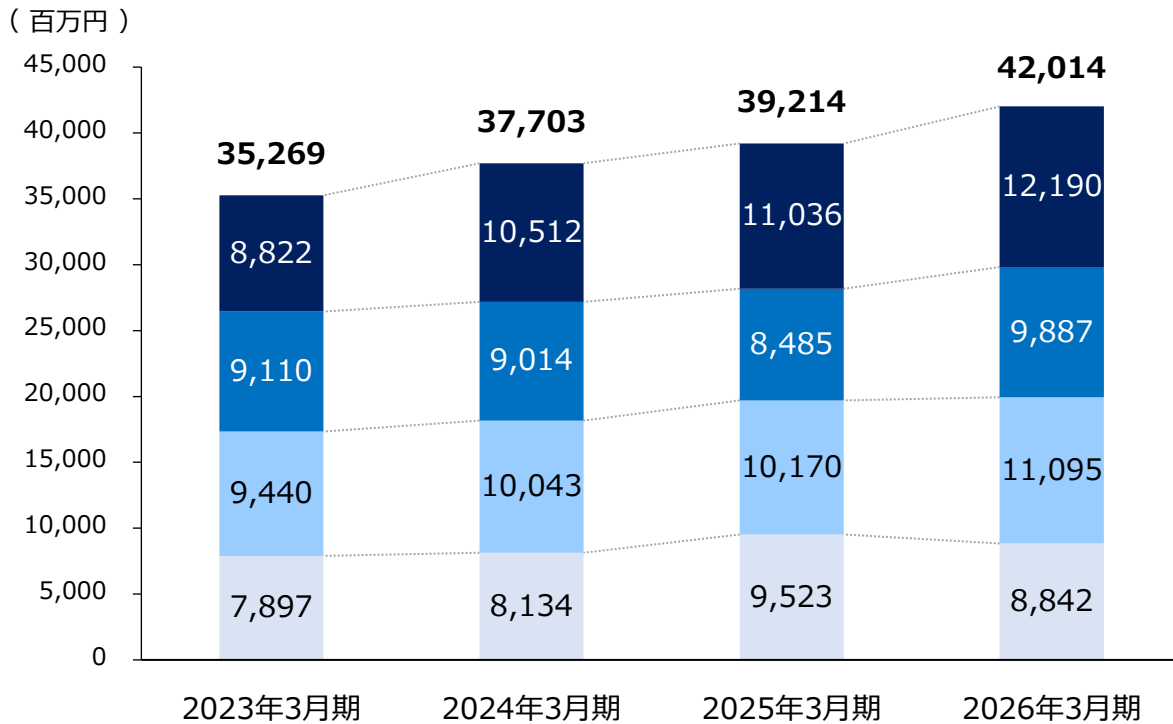


◆ 四半期毎の売上高・営業利益推移

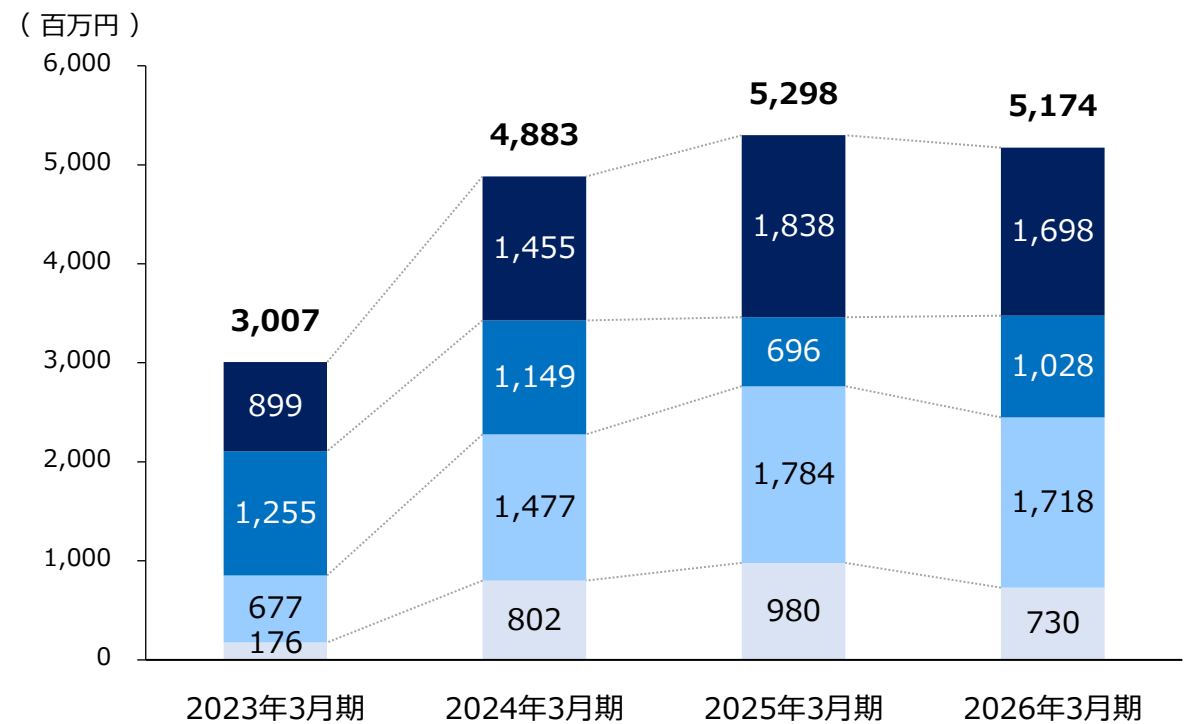
- 4Q（1月－3月）売上高は米国・アジアの機械販売好調とオレンジベーカーリーの回復により、前年同期比10.4%増加。
- 営業利益は製パンライン等の販売増加とオレンジベーカーリーの新規顧客獲得費増加により前年同期比7.6%減少。

1Q 2Q 3Q 4Q

売上高



営業利益

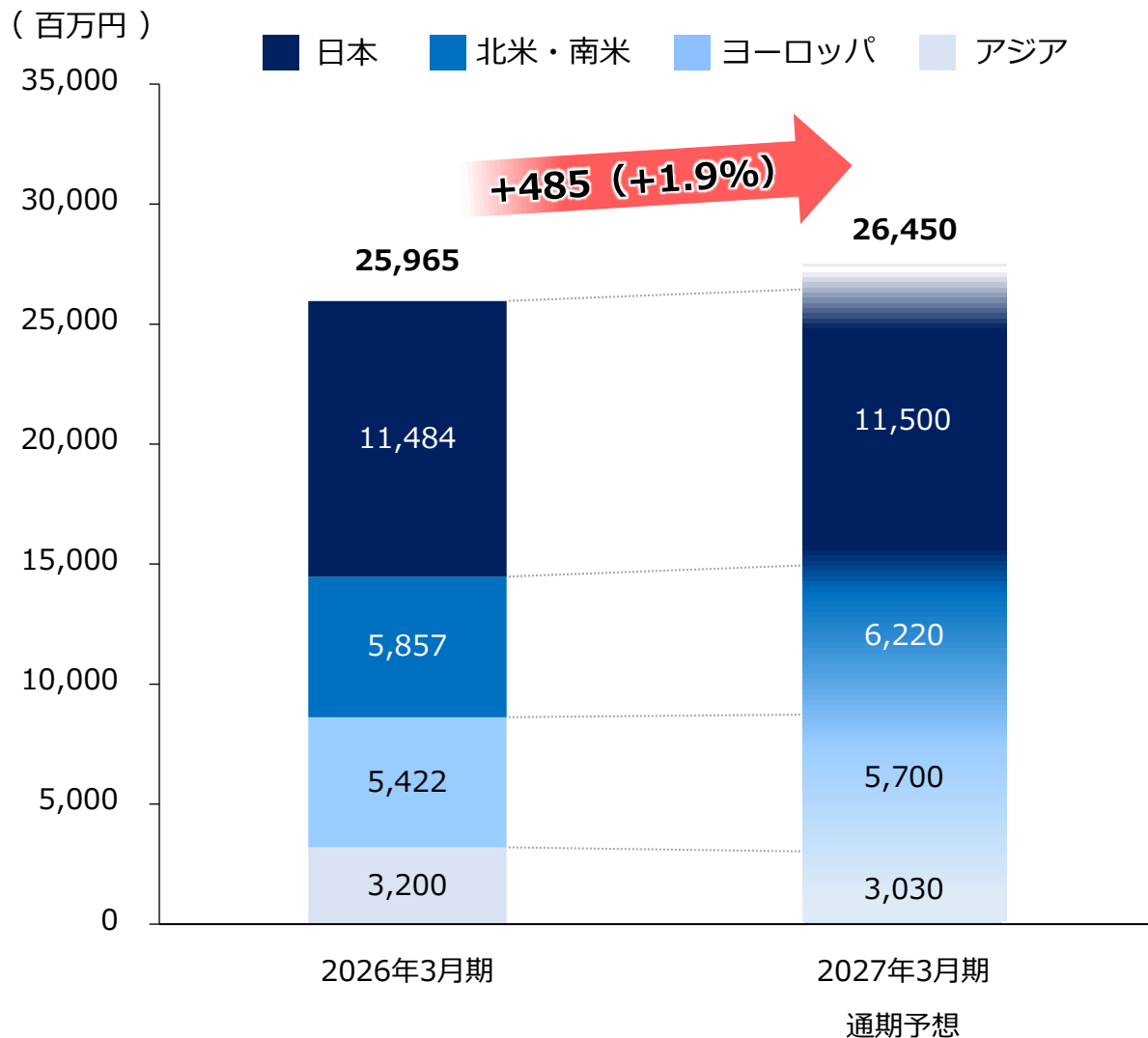


◆ 連結貸借対照表サマリー

(百万円)	2025年3月期		2026年3月期				
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)	主な増減要因
資産合計	49,242	100 %	54,405	100 %	5,162	10.5 %	● 建設仮勘定の増加
流動資産	29,073	59.0 %	25,654	47.2 %	▲3,419	▲11.8 %	● 現金及び預金の減少
固定資産	20,168	41.0 %	28,750	52.8 %	8,582	42.6 %	● 建設仮勘定の増加 ● 投資有価証券の増加 など
負債合計	10,527	21.4 %	11,342	20.8 %	815	7.7 %	● 短期借入金の増加
流動負債	8,867	18.0 %	9,620	17.7 %	753	8.5 %	● 短期借入金の増加 ● 前受金の増加 など
固定負債	1,660	3.4 %	1,722	3.2 %	62	3.7 %	—
純資産合計	38,715	78.6 %	43,062	79.2 %	4,347	11.2 %	● 利益剰余金の増加
負債純資産合計	49,242	100 %	54,405	100 %	5,162	10.5 %	—

◆ 事業別業績予想 食品加工機械製造販売事業

売上高予測

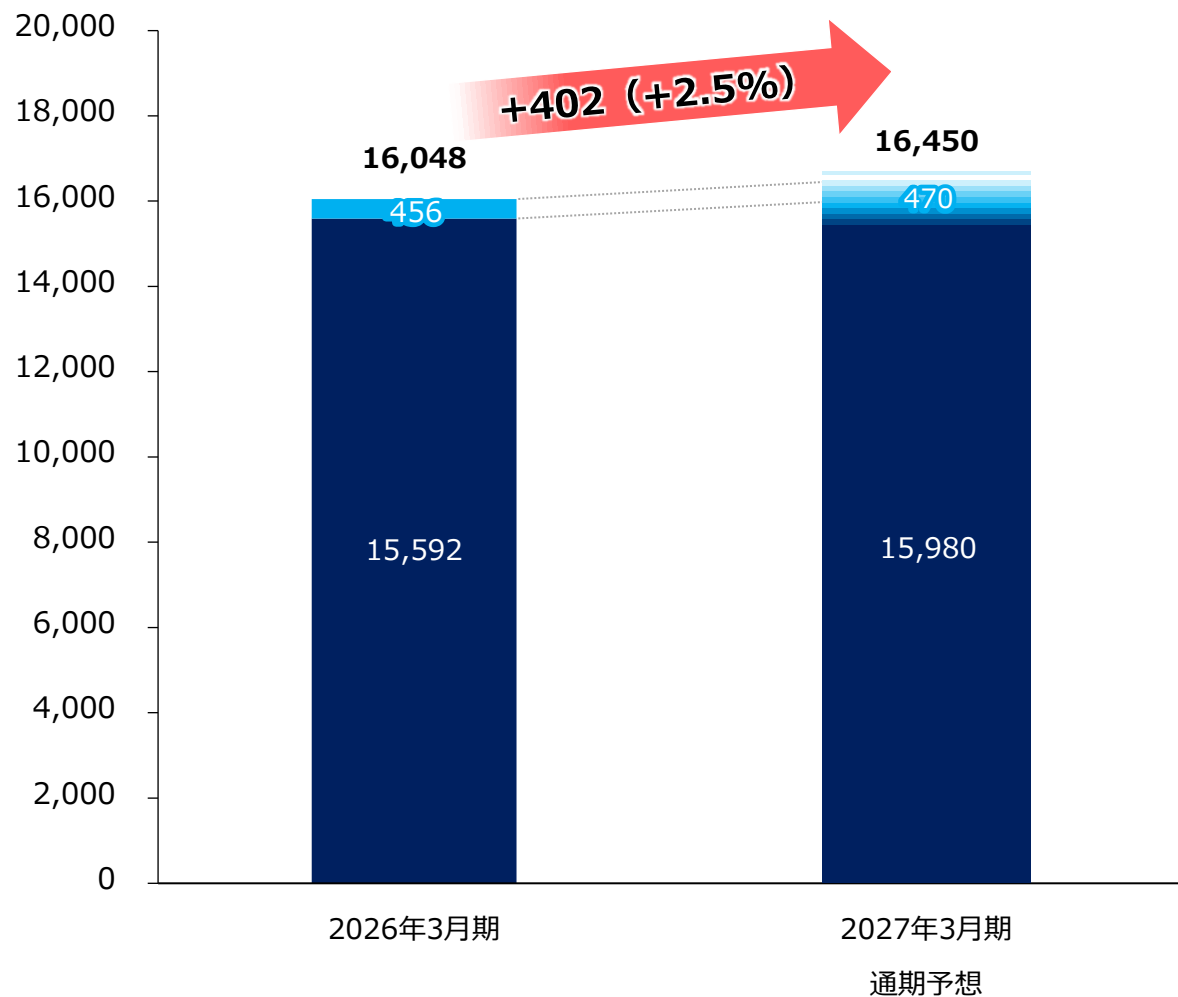


日本	<ul style="list-style-type: none"> ● 大手メーカーからの設備更新需要は堅調に推移するものと予想 ● 食品成形機は引き続き「中小企業省力化投資補助金」を活用した案件が増加すると予想 ● 国内全体においては、前期と同等の売上を見込む
北米・南米	<ul style="list-style-type: none"> ● アルチザンブレッド生産ラインなど、大型の製パンライン等の好調な受注が継続 ● 展示会 (IBIE) での見込客へアプローチ ● 包あん機は、周辺機器とのセット販売を強化
ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> ● 主力の小型製パン機であるツインデバイダーの販売が堅調であり、ドイツ以外の地域での販売を強化 ● 食品成形機は欧州全域において需要が増加し、修理その他の売上も計画通りに推移すると予想 ● アフリカでの営業展開を引き続き強化
アジア	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国は大型案件の受注が前期比で減少するものと予想 ● 台湾、東南アジア地区で堅調な設備更新需要を見込む ● インドマーケットでは、製パン市場拡大のために現地研究会を積極的に実施し販売増加を目指す ● オセアニア地区においては、アルチザンブレッド向け小型製パン機の販売増加を目指す

◆ 事業別業績予想 食品製造販売事業

売上高予測

(百万円) ■ 北米・南米 (オレンジベーカリー) ■ 日本 (ホシノ天然酵母パン種)



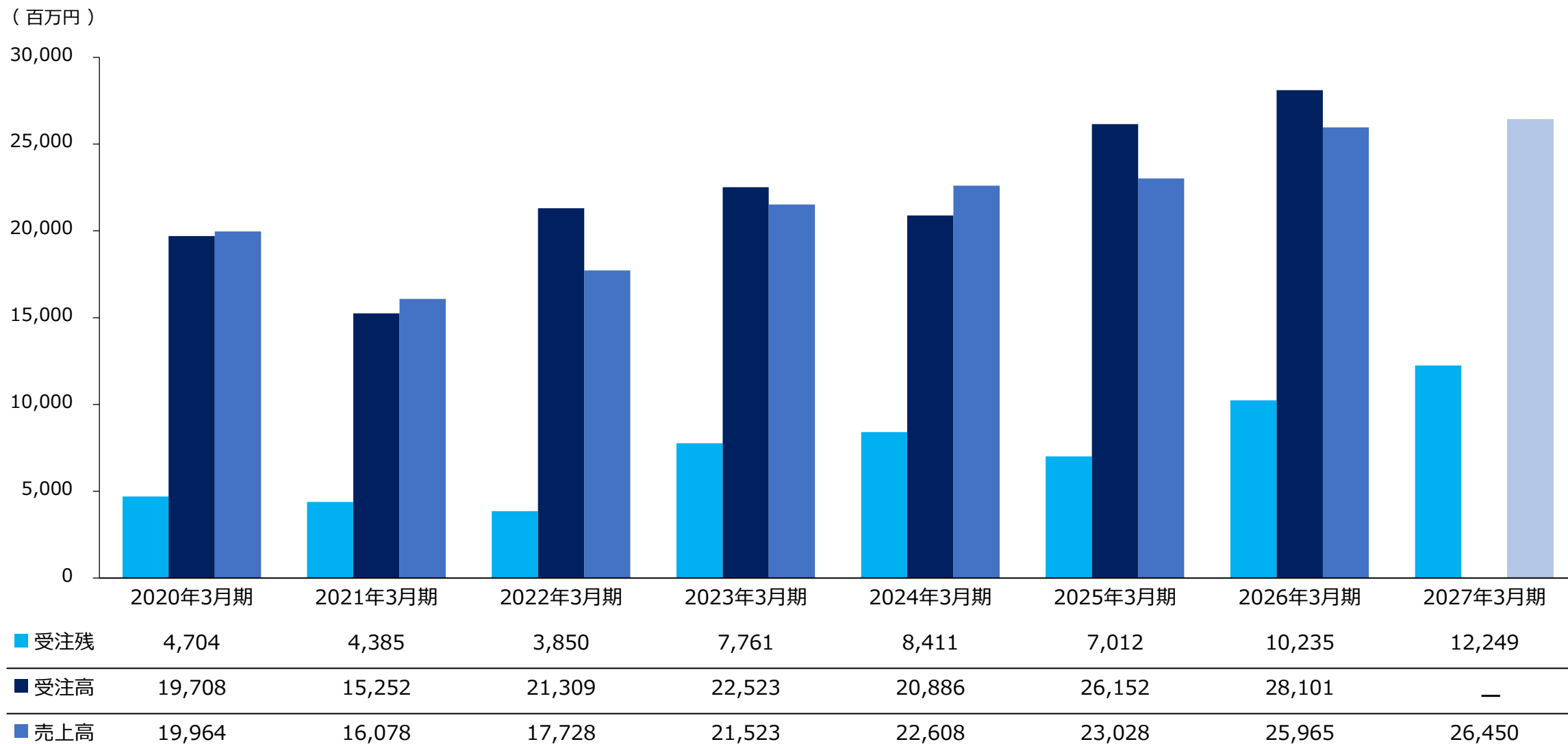
北米・南米 (オレンジベーカリー)

- ホイロ後冷凍製品の商品ラインアップを増やし、市場を拡大する
- 新規先への新商品提案営業を強化し通期での売上増加を図る

日本 (ホシノ天然酵母パン種)

- 各種展示会への出展、大口顧客への接触強化により拡販につなげる
- 製品講習会や見込客向け個別提案会の実施により売上増加を図る

◆ 食品加工機械製造販売事業 受注高・売上高・受注残の推移



※受注残は4月1日時点



《 社名の由来 》

レオン自動機の「レオン」は、レオロジー（流動学）に由来します。レオロジーとは、粘性や弾性の流動を解明する科学であり、当社の創業者（名誉会長 林虎彦）が、レオロジーを応用し、世界初の包あん機を開発したことから名づけました。

【 免責事項 】

本資料の将来的予測に関する業績・事業計画などは資料作成時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的リスクや不確実性を含んでおります。そのため、実際の業績・財務状況は今後の経済動向・市場の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。